

2018 新春医療特集

名医の先進治療

●永久保存版



●PROFILE 齋藤竜太(さいとう・りゅうた)
1992年産業医科大学卒。産業医科大学産婦人科助手、九州労災病院産婦人科部長、周産期センター副センター長などを経て、地域のお産事情改善を目指す九州バースセンターを2010年1月に立ち上げる。



無料で利用できるリラクゼーションルーム

40歳過ぎても体外受精で
——高齢の方もこれらとかが
年ほど不妊治療を続けて
いるが結果がでないから
と、40歳を過ぎて当院に來れ
る方も多いためリスクも高く大
変ですが、不妊治療だけでなく
お産まで診てもらえるというこ
とで大きな信頼を頂いてますの

齋藤シーサイドレディースクリニック
北九州 不妊・不育センター
<http://saitoivf.com/>

診療時間◆朝9時～12時(月火水木金・隔週土)／昼1時～6時(月火水木金・火木は4時まで)／土は2時～／夜7時～9時(火木) 休診日◆日曜・祝日 標準料金◆体外受精(自費診療)：採卵124000円(卵が採れなかった場合73000円)ほか成功報酬制。税別。詳細はHPを参照。
所在地◆福岡県遠賀郡戸山町山鹿 852-57 アクセス◆鹿児島本線折尾駅下車…『折尾駅』発着のクリニックまでの無料送迎あり(要予約)。
電話◆093-701-8880

一般社団法人日本バースセンター協会
九州バースセンター うばがふところ
<http://www.kyusyu-bc.com/>

電話◆093-701-8103(はい、お産)
*詳細はHPをご参照ください。

齋藤シーサイド 検索

(*)当クリニックのホームページをご参照ください。

妊婦率の高い不妊治療を目指す
——不妊治療についてお伺いします。
結婚して1年以上たち、普通の夫婦生活を続けていても妊娠しない場合は、不妊専門施設で、ご夫婦で早めの検診をお勧めします。
不妊症の原因は様々で女性のホルモ

ン異常であったり、性感染症で卵管がつまっていたり、男性の問題のこともありますので、まず基本検査をします。そして、タイミング療法を試みたり、人工授精(精子を子宮に入れる)や体外受精(精子を卵子にふりかける)顕微授精(卵子の中に精子を入れる)と、ステップアップしていきますが、

さらにご夫婦の年齢や不妊期間、個人的な事情、卵巣年齢などを斟酌したうえで、手段や方法をオーダーメイドでより適したものに変えていきます。体外受精でも、何種類かある採卵方法について十分にご説明し一般的なショー法だけではなく、患者さん一人ひとりの心や体、費用面での負担を最低限に抑えつつ、最大の効果が得られる無駄のない治療を考え、自然周期法も積極的にを行っています。

不妊治療から出産までサポート
——不妊治療から出産までの専門施設ということですが…。
不妊治療のゴールは妊娠ではなく無事な分娩と考えています。数えきれない程のハイリスクの妊婦を見てきたので、無事な出産に導いてこそ不妊治療だと思いで、不妊治療は妊娠管理と産後サポートまでをトータルで出来る態勢を整えました。出産もバースセンターとクリニックで分担しハイリスクな分娩や帝王切開も受け入れています。安全管理がしっかりしているため当センターから総合病院への搬送はほとんどありません。

一般社団法人日本バースセンター協会
九州バースセンター うばがふところ
齋藤シーサイド・レディースクリニック

理事長
院長 齋藤竜太 医師

福岡県戸山町●各ご夫婦の個人的事情を斟酌し効果的な無駄のない治療を提供
不妊治療と産院が融合のオーダーメイド治療
一人ひとりの心と体の負担や費用も配慮した体外受精でも高い妊娠率

少子高齢化社会が危惧されるなか、結婚年齢が上がり晩産化が進んだことにより、日本産科婦人科学会による不妊の定義が2年から1年に短縮された。妊娠を希望する場合は早め不妊治療を受ける必要があるとの判断によるものだ。今回紹介するクリニックは不妊・不育治療と分娩施設が合体した新しいタイプの専門医療施設。不妊・不育・出産・産後までをトータルでサポートできる態勢が整い、理想の妊娠・出産を望む女性の強い味方となっている。二般社団法人日本バースセンター協会理事長、九州バースセンター うばがふところ「齋藤シーサイド・レディースクリニック」院長の齋藤竜太医師に話を聞いた。

不妊治療から出産までサポート
——不妊治療から出産までの専門施設ということですが…。
不妊治療のゴールは妊娠ではなく無事な分娩と考えています。数えきれない程のハイリスクの妊婦を見てきたので、無事な出産に導いてこそ不妊治療だと思いで、不妊治療は妊娠管理と産後サポートまでをトータルで出来る態勢を整えました。出産もバースセンターとクリニックで分担しハイリスクな分娩や帝王切開も受け入れています。安全管理がしっかりしているため当センターから総合病院への搬送はほとんどありません。

〈本誌独占〉山尾志桜里×倉持麟太郎「私たちが組む理由」

婦人公論

Fujinkoron
合併特大号

N°1485 590yen 2017-18
12/26, 1/4



〈特別付録〉
お正月に大活躍!
折ってつくる
かわいい「ポチ袋」



〈特集〉貯める、増やす、稼ぐ
100年を生きる
ための「お金」

鉄の天井は
「風」だけでは破れなかった
小池百合子
〈宝塚すみれ色の未来へ雪組〉
望海風斗 &
真彩希帆
マスクを脱いでも僕はアイドル
中島健人

表紙・柴咲コウ

〈老後破産回避の救済プラン〉
リタイア後に
必要なお金は?
萩原博子
長生き時代の
家計不安に打つ手あり
〈ルポ・節約派も投資派も〉
読者の「すごい貯めテク」
〈バンク前夜の制度のゆとりに〉
年金が60歳支給開始に!?
決行は東京五輪前か
資産2億円を失って
佐伯チズ